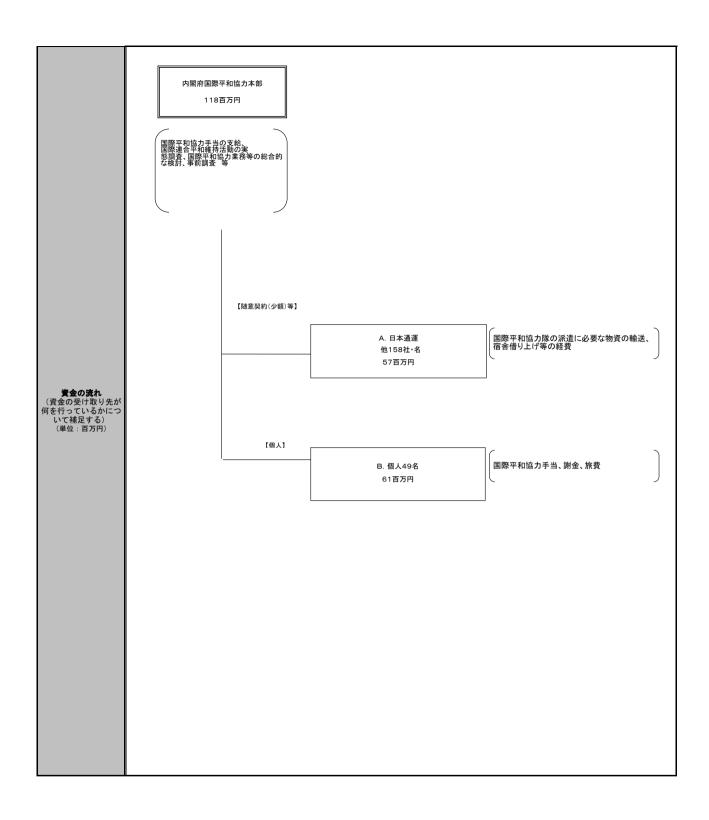
**車業器** 2023 - 府 - 22 - 0143

				事業番号			
Tr 40-22			<b>変行政事業レビ</b>			内閣	
事業名	国際平和協力隊の派		7	担当部局庁	国際平和協力本部事		作成責任者
事業開始年度	平成4年度	事業終 (予定)年	<b>▶</b> 終了予定	おし 担当課室	_	<b>*</b>	参事官 植草 泰彦 ————————————————————————————————————
<u>会計区分</u>	一般会計				カフーが、 <b>国際</b> 亚	和協力業務実施計画	ī
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国際連合平和維持 (第9条、第16条、	寺活動等に対する協力に 、第17条)	こ関する法律	関係する 計画、通知等	(H23.11.15閣議決 シナイ半島国際平	·和協力未務美施計画 定/R5.5.12最終変更 和協力業務実施計画 /R5.5.12最終変更)	()
政策	25. 国際平和協力	]					
施策	31. 国際平和協力	」に関する施策の推進		主要経費		その他の事項経済	費
で 策体系・評価書URL		.go.jp/hyouka/index.htm					
事業の目的 (5行程度以内)	協力業務(国際連		連携平和安全活動、人	法律第79号。以下「国際 道的な国際救援活動及で			
<b>現状・課題</b> (5行程度以内)	え、令和4年度に	関してはウクライナ被災	民のための人道支援物	UNMISS」という。)及び多 j資を輸送する国際平和t 事務所(以下「UNHCR」	協力業務も実施した。		
<b>亭棠板要</b> (5行程度以内)	整要員を派遣して MFOにおける国際 絡調整要員を首者	いる。 『平和協力業務について 『カイロに派遣している。	には、MFOからの要請に	D要請に基づき、平成23 に基づき、平成31年から、 るとともに、新たな国際平	MFO司令部要員をエジ	プト・アラブ共和国のシャ	ァルム・エル・シェイクに
事業板要URL							
事業概要URL 実施方法	直接実施						
	直接実施						
<u>実施方法</u>	直接実施		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
<u>実施方法</u>		当初予算(A)	令和2年度 219	令和3年度 207	令和4年度 208	令和5年度 205	令和6年度要求 231
<u>実施方法</u>		当初予算(A) 補正予算(B)					
<u>実施方法</u>		-	219	207	208	205	
<u>実施方法</u>		補正予算(B)	219	207	208	205	
<u>実施方法</u>		補正予算(B)	219	207	208	205 32 32	
<u>実施方法</u>	令和5	補正予算(B)	219	207	208	205 32 32 -	
実施方法 補助率等	令和5	補正予算(B)	219	207	208	205 32 32 -	
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	令和5 予算の 状況	補正予算(B)	219	207	208	205 32 32 -	
実施方法 補助率等 予算額- 執行額	令和5: 予算の 状況 前年	補正予算(B) 年度第1次補正予算	219	207	208	205 32 32 - - - -	
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	令和5 予算の 状況 前年 翌2	補正予算(B) 年度第1次補正予算 F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E)	219	207	208	205 32 32 - - - - -	
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	令和5 令和5 が状況 前年 翌4	補正予算(B) 年度第1次補正予算 F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D)	219	207	208	205 32 32 - - - - - -	
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	令和5 令和5 が状況 前年 翌4	補正予算(B) 年度第1次補正予算 F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F)	219	207 - - - -	208	205 32 32 - - - - - -	231
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	予算の状況         前年         聖金         =(A)         執行	補正予算(B) 年度第1次補正予算 F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G) 7率(%)	219 - - - - - 219	207 - - - - - 207	208 <b>A</b> 1	205 32 32 - - - - - -	231
実施方法 補助率等  予算額・ 執行額 (単位百万円)	予算の 状況 前年 翌4 =(A) 執統 執行 =(	補正予算(B) 年度第1次補正予算 F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 請け(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G)  万率(96) G)/(F)	219 - - - - - 219 90	207 - - - - - 207 87	208  A 1	205 32 32 - - - - - -	231
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	予算の 状況       前年 翌4       =(A)       執行       当初予算+補正の書       の書	補正予算(B) 年度第1次補正予算  F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G)  万率(96) (G)/(F) 予算に対する執行額 別合(96)	219 - - - - - 219 90	207 - - - - - 207 87	208  A 1	205 32 32 - - - - - -	231
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	予算の 状況       前年         =(A)       執行 (正 の書 (G)/	補正予算(B) 年度第1次補正予算  F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G) 万率(%) G)/(F) ア第(に対する執行額 列合(%) {((A)+(B)}	219 - - - - - 219 90 41%	207 - - - - - 207 87 42%	208  A 1  207  118  57%	205 32 32 - - - - - -	231
実施方法 補助率等 予算額・ 執行額 (単位百万円)	予算の 状況       前年         =(A)       執行 (正 の書 (G)/	補正予算(B) 年度第1次補正予算  F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G)  万率(96) (G)/(F) 予算に対する執行額 別合(96)	219 219 90 41%	207 - - - - - 207 87 42%	208  A 1  207  118  57%	205 32 32 - - - - - - - 237	231
実施方法 補助率等  予算額・ 執行額 (単位百万円)	予算の 状況       前年 翌4       当初予算+補正 の書 (G)/ 歳出	補正予算(B) 年度第1次補正予算 F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G) 7率(96) (G)/(F) 予算に対する執行額 削合(96) *{((A)+(B)} 予算項・目	219 219 90 41%	207 - - - - - 207 87 42%	208  A 1  207  118  57%	205 32 32 - - - - - - - 237	231
実施方法 補助率等  予算額・ 執行額 (単位百万円)	令和5 令和5 が状況 前年 聖4 当初予算+補正の書 (G)/ 歳出:	補正予算(B) 年度第1次補正予算  F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G) 万率(96) (G)/(F) 予算に対する執行額 削合(96) *{((A)+(B)} 予算項・目 国際平和協力本部	219 - - - - - 219 90 41% 41%	207 - - - - - 207 87 42% 42% 令和6年度要求	208  A 1  207  118  57%	205 32 32 - - - - - - - 237	231
実施方法 補助率等 予算額 教行百万円) (インプット)	予算の状況         前年         =(A)         執行         =(G)/         歳出         (項)         (目)         (目)         (目)	補正予算(B) 年度第1次補正予算  F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G) 7率(96) (G)/(F) 予算に対する執行額 割合(96) [((A)+(B)] 予算項・目 国際平和協力本部 国際平和協力来務府費 職員諸手当	219 219 90 41% 41% 令和5年度当初予算	207 207 87 42% 42% 今和6年度要求  147 46 35	208  A 1  207  118  57%	205 32 32 - - - - - - - 237	231
実施方法 補助率等 予算額額 (単位百万円) (インブット)	令和5:	補正予算(B) 年度第1次補正予算  F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G) 7率(96) (G)/(F) 予算に対する執行額 別合(96) {((A)+(B)} 予算項・目 国際平和協力本部 国際平和協力業務庁費 国際平和協力業務庁費 職員諸手当 委員等旅費	219 219 90 41% 41% 令和5年度当初予算	207 207 87 42% 42% 令和6年度要求  147 46 35 2	208  A 1  207  118  57%	205 32 32 - - - - - - - 237	231
実施方法 補助率等 予算額 教行百万円) (インプット)	予算の状況         前年         =(A)         執行         =(G)/         歳出         (項)         (目)         (目)         (目)	補正予算(B) 年度第1次補正予算  F度から繰越し(C) 年度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) +(B)+(C)+(D)+(E) 行額(G) 7率(96) (G)/(F) 予算に対する執行額 割合(96) [((A)+(B)] 予算項・目 国際平和協力本部 国際平和協力来務府費 職員諸手当	219 219 90 41% 41% 令和5年度当初予算	207 207 87 42% 42% 今和6年度要求  147 46 35	208  A 1  207  118  57%	205 32 32 - - - - - - - 237	231

	お動内容① ワクティビティ)	国际建台を中心とした国际平和のため	の努力に積極的に寄与する。							
	<u> </u>		1						5年度	6年度
活動目	標及び活動す	<b>E積</b> 活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	活動見込	活動見込
(7	① プウトプット)	国際平和協力業務の実施	国際平和協力業務の実施回 数	活動実績	力所	2	2	3	_	
			20	当初見込み	力所	2	2	2	2	
↓	成果目標①- 設定理由 (アウトブッ からのつなが	ト 我が国が実施する国際平和協力業務の	D成果については、短期的には、	活動の要請	青元(国連	・MFO等)や活	動国(現地政)	帝)等からの評	7価により確認	できるため。
<b>*</b> =0		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	票年度 年度
	標及び成果9 ①-1	我が国が宝施する国際平和協力業務		成果実績	-	-	-	-	•	
(短)	切アウトカム)	に対し、国連・MFO・現地政府等から肯定的な評価を得る。	-	目標値	-	-	-	-		
		たりな計画を持る。 令和2年度から4年度はUNMISS及びM	にひとればて国際できなかと坐が	達成度	%		- /	- - -	亚뉴次+44平	- + 7 国政立在
根拠 統計・ /定性的	権及び目標係 として用いた データ名(出場 りなアウトカム 「る成果実績	これらの活動に対しては、国連・MFO・I	JNHCR・現地政府等から肯定的	りな評価を得	}ることがと	出来た。				
1	成果目標①- 設定理由 (短期アウト) からのつなが	我が国が実施する国際平和協力業務の	の成果については、長期的には、	. どのように	国際社会(	の平和と安定に	-向けた国際的	力な取組みの進	重展に寄与した	かを確認する
<b>→</b>	設定理由 (短期アウド) からのつなが	カム 取が国が実施する国際平和協力業務の 必要があるため。 成果目標	D成果については、長期的には、 定量的な成果指標	. どのように	国際社会(	の平和と安定に	で で で で の けた 国際 が で の で の で の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	つな取組みの途 令和4年度		かを確認する
	設定理由 (短期アウト) からのつなが からのつなが (単及び成果) (①-3	我が国が実施する国際平和協力業務の要があるため。  成果目標 我が国が実施する国際平和協力業務	定量的な成果指標	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		<b>是終年度</b>
	設定理由 (短期アウド) からのつなが	おか国が実施する国際平和協力業務が必要があるため。  成果目標  我が国が実施する国際平和協力業務が必要があるため。	定量的な成果指標	成果実績目標値	単位 - -	令和2年度	令和3年度	令和4年度		<b>是終年度</b>
成果実施 根果実施 統計・・・ /定性的	設定理由 (短期アウト) からのつなが からのつなが (単及び成果) (①-3	表が国が実施する国際平和協力業務が要があるため。  成果目標  我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。  まかました。  まが国が実施した国際平和協力業務が、関係社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。	定量的な成果指標	成果実績目標値達成度	単位 - - %	令和2年度 - - -	令和3年度 - - -	令和4年度 - - -		最終年度 年度
成果実施 根別 統計・一/定性的	股定理の (短期アウトが からのつなが からのつなが 便及び成果 (1) -3 明アウトカム) 横及び目標体 として用いた ラ名(出) ラ名(出) ライントカム	表が国が実施する国際平和協力業務が要があるため。  成果目標  我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。  まかました。  まが国が実施した国際平和協力業務が、関係社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。	定量的な成果指標	成果実績目標値達成度	単位 - - % 取組みの3	令和2年度 生展に寄与した	令和3年度 - - - - - - - -	令和4年度 - - -		最終年度 年度
成果実 根 根 統 大定性的 関す	股定理の (短期アウトが からのつなが 東ので成果 切でつく は を して用いた データ名(出) が るな成果 を は と して男いた が るな成果 を して の で の で の で の で の で の で の で の で の で の	我が国が実施する国際平和協力業務の要があるため。  成果目標 我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。  我が国が実施した国際平和協力業務が、国際平和協力業務が、国際平和協力という政策の性質上、数	定量的な成果指標  -  が国際社会の平和と安定に向け  アクティビティ①につ	成果実績目標値達成度	単位 - - % 取組みの3	令和2年度 生展に寄与した	令和3年度 - - - - - - - -	令和4年度 - - -		最終年度 年度
成果実 根 根 統 大定性的 関す	股定理の (短期アウトが からのつなが からのつなが 便及び成果 (1) -3 明アウトカム) 横及び目標体 として用いた ラ名(出) ラ名(出) ライントカム	我が国が実施する国際平和協力業務の要があるため。  成果目標 我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。  我が国が実施した国際平和協力業務が、国際平和協力業務が、国際平和協力という政策の性質上、数	定量的な成果指標  -  が国際社会の平和と安定に向け  アクティビティ①につ	成果実績目標値達成度 た国際的ないて定性的ないため。	単位 - - % 取組みの3	令和2年度 - - - - 生展に寄与した	令和3年度	令和4年度 - - -		最終年度 年度
成果実 根 根 統 大定性的 関す	股定理の (短期アウトが がらのつなが がらのつなが 様 及びの は ひつ コトカカム 様 をしてタートカカ は と レータートカ する成果 は と アウトな成果 は と アウトな成果 り ト の し の と の と の と の と の と の と の と の と の と	我が国が実施する国際平和協力業務の要があるため。  成果目標 我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。  我が国が実施した国際平和協力業務が、国際平和協力業務が、国際平和協力という政策の性質上、数	定量的な成果指標  -  が国際社会の平和と安定に向け  アクティビティ①につ  値化した定量的な目標はなじま	成果実績目標値達成度 た国際的ないて定性的ないため。	単位 - - % 取組みの3	令和2年度 - - - - 生展に寄与した	令和3年度	令和4年度 - - -		最終年度 年度
(長) 成果実施計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	股定理からのには、 (短期でからがが、 「「ないないないない。」 「「ないないないないない。」 「「ないないないないない。」 「ないないないないないない。」 「ないないないないないないないないないない。」 「ないないないないないないないないないない。」 「ないないないないないないないないないないないないないない。」 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	我が国が実施する国際平和協力業務の要があるため。  成果目標 我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。  我が国が実施した国際平和協力業務が、国際平和協力業務が、国際平和協力という政策の性質上、数	定量的な成果指標  -  が国際社会の平和と安定に向け  アクティビティ①につ  値化した定量的な目標はなじま	成果実績目標値達成度 た国際的ないて定性的ないため。	単位 - - % 取組みの3	令和2年度 - - - - 生展に寄与した	令和3年度	令和4年度 - - -		最終年度 年度
(長才 成果複数・ 統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	股定理からのでは、 (短期アウトがからのつながが成果アウトがらのつながが成果。 (1) -3 トカム) 横及び成果果 明アウトカム) 横及び成果果 はとして名(トカナーター) 一名の説明	我が国が実施する国際平和協力業務の要があるため。  成果目標 我が国が実施する国際平和協力業務が、国際社会の平和と安定に向けた取組みに寄与する。  我が国が実施した国際平和協力業務が、国際平和協力業務が、国際平和協力という政策の性質上、数	定量的な成果指標  -  が国際社会の平和と安定に向け  アクティビティ①につ  値化した定量的な目標はなじま	成果実績目標値達成度 た国際的ないて定性的ないため。	単位 - - % 取組みの3	令和2年度 - - - - 生展に寄与した	令和3年度	令和4年度 - - -		最終年度 年度

								事業所	折管部	局に。	はる点板	食·改善												
														目棋	年度	にお	ける効	果測:	定に限	関する	評価(*	令和〇	年度実施	框)
点検結乳	Į.	使途のじ	ずれも	適正で	約及び請 きある。我 要がある。	求書等関係 が国が、国際	書類を 祭平和 <i>の</i>	精査の )ための	)うえ支 の努力	出してに寄与	おり、支 するため	:出状況及 か、引き紛	なび たき、											
改善の 方向性		本事業に	ついて	は、突	発的な情	勢変化や新	規要請	に対応	する必	多要性に		し、引き	続き適	i j切に	実施し <sup>·</sup>	ていく	必要が	·ある。						
									外部	有識者	の所見	l												
①予算の執行率が令 平和協力隊の派遣と	う和2年度41 いう事業名	1%、令和3:	年度42%	。令和4	年度57%だ たのか、その	ったのはなぜ	か。②短月 Rすべきで	明的には	ま、活動の	の要請元	:(国連・N を駆使して	MFO等) やえ	活動国アウトナ	(現地正	友府)等;	からの	評価によ	り確認で努力はで	できるた	め、とあ	るが、その	の評価とは	は何か。③国	国際
110000000000000000000000000000000000000	. , , , , , ,	0.510.12		1,,,,,,,								こ至る過				0111111		337010	, , ,	1000				
現状通り		外部有論 要求に反				量的アウトカ	<b>カム測定</b>	に代え	える検討	すを行う	iこと。 <del>す</del>	∮算の効率	率的執	れ行に	努め、	不用額	質が生り	じている	ることも	踏まえ	、執行	実績を過	りに概算	<u></u>
		安水に及	、灰でに	مدد	•	所見	を踏ま	えたさ	<b>李</b> 点。	/概算:	要求に	おける反	7 映 村	た況										
現状通り		これまでに	我が国か	が派遣し	た要員の能	カ・実績が評価力という政策の									もに、ダ	発的な	情勢変	化や新規	見要請(	こ対応で	きるよう、	執行実統	を踏まえた	- 予
9t N.E. 7		算要求を行	テっている	ところ。													引き続き	検討して	まいりた	たい。				
						公開プロも	2人・1次	の手を	火公所	快业	状のレ	/Cユー)	~ക	17 64	Xツエ·	<b>(4)</b>								
									上書	こへの	対応状	況												
過去に受けた指 と対応状法																								
			その他の指摘事項																					
			上記への対応状況																					
										備考	<del>-</del>													
							関連	<b>!する</b> i	過去の	レビュー	ーシート	の事業者	号											
平成23年度	0162																							
平成24年度	0156																							
平成25年度	0110																							
平成26年度	0107																							
平成27年度	0116																							
平成28年度	0112																							
平成29年度	0116			-													-			-				
平成30年度	0122			, .						, ,														
令和元年度	内閣府	f -		$\perp$	0131													Ш					$\perp \downarrow \downarrow$	
令和2年度	内閣府			Щ	0132				<u> </u>	Щ					1_			Щ	_	_			$\sqcup \downarrow$	$\sqcup$
令和3年度	2021	府		20	0149				$\perp$	$\perp$								$\perp$	$\perp$	_			$\sqcup$	_
令和4年度	2022	府		21	0153																			



<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」において		A.					
ブロックごとに最大の金 額が支出されている者に	費目	使 途	金額(百万円)	費目		使 途	金額(百万円)
ついて記載する。費目と	通信運搬費	物資の輸送	12	人件費	職員に対する旅費		5
使途の双方で実情が分 かるように記載)	計		12	計			5
	費目・使途欄に	ついてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別	紙2]に記載		チ	エック	

## 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本通運株式会社	4010401022860	物資の輸送	12	随意契約(少 額)	-	1	-
2	Multinational Force and Observers	-	シナイ半島司令部要員支援費 等	7	随意契約(その他)	-	-	-
3	個人A	-	南ス一ダン連絡調整要員用車 両運行業務	5	随意契約(その他)	-	1	-
4	SWED GENERAL TRADING	-	南ス一ダン連絡調整要員用宿 舎借上げ	5	随意契約(その他)	-	-	-
5	クリエイティブ・ファクトリー株 式会社	3011301024114	シンポジウム開催経費	4	一般競争契約 (最低価格)	16	76%	
6	インターナショナルエスオーエ スジャパン株式会社	8010401079666	国際平和協力隊に係るメディ カルサービス等の加入	4	随意契約(公 募)	-	1	-
7	EL SAFWA FOR CONSTRUCTION & DEVELOPMENT S.A.E	-	シナイ半島連絡調整要員用宿 舎借上げ	3	随意契約(その他)	-	-	-
8	Dish NET	-	南ス一ダン司令部要員用イン ターネット回線使用料	1	随意契約(その他)	-	-	-
9	H.I.S TRAVEL AND TOURISM LLC	-	アラブ首長国連邦連絡調整要 員用車両借上げ	1	随意契約(少 額)	-	-	_
10	個人B	-	シナイ半島連絡調整要員用車両借上げ	1	随意契約(その他)	-	-	=

R

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	旅費(個人)	5	その他	-	-	-
2	個人B	-	国際平和協力手当及び旅費 (個人)	5	その他	I	-	-
3	個人C	-	国際平和協力手当	4	その他	1	-	-
4	個人D	-	国際平和協力手当	4	その他	-	-	-
5	個人E	-	旅費(個人)	3	その他	-	-	-
6	個人F	-	国際平和協力手当及び旅費 (個人)	3	その他	-	-	_
7	個人G	-	国際平和協力手当及び旅費 (個人)	3	その他	-	-	-
8	個人H	-	国際平和協力手当及び旅費 (個人)	3	その他	-	-	-
9	個人I		国際平和協力手当及び旅費 (個人)	3	その他	-	-	-
10	個人J	-	旅費(個人)	3	その他	-	-	_
	支出先上位1		チェック					